ひらおか

平岡地区町内会連合会

清田区平岡7条3丁目9－25 平岡まちづくりセンター内　TEL 883－7100　発行責任者：鎌倉　功　編集責任者：竹下　敏雄

町連会長のひとり言

（畑友達、また楽し）

平岡地区町内会連合会
会　長　**鎌倉　　功**

町連会長として2期目の大事な時期に入り、連日の暑さに氷で頭を冷やしながら今年の課題に取り組んでいます。

一番目は、「会則の部分改正」です。3年前に改正しましたが、運用上いろいろ問題があり、5月、特別委員会の6人の委員に検討をお願いしました。7月の理事会で、理事各位の意見をいただき現在更につめており、12月理事会で総会提出の成案作成の予定です。

二番目は、今年見送った「ふれあい祭り」の再開をめざす取り組みを専門部会で検討中です。子供から高齢者まで楽しめ、お子さんの「仮装大会」や心が若いご婦人の「踊り」をはじめ、歌謡大会、大抽選会、屋外のマルシェ、そして広い場所での開催等、夢はどんどん膨らんでおります。（予算はどうする？～会長がなんとかするべ―）乞う、ご期待。

三番目は「私の趣味」の話でひとり言。

近所に10坪ほどの畑を借りて5年目になる。

1年目は、キタアカリ、インカのめざめ等大豊作。ササギ豆、キュウリもご近所にお裾分け、俺は農家が向いていたか、と遊びに来ていた孫に「新鮮だぞ、うまいべ」と小遣い渡し農業経営の自慢話。

2年目も過ぎ3年目　～会長就任～　例年どおり種もまき、苗も植えた。7月、周りの人の畑は収穫時、我が畑は草ボウボウ。周りの「畑友」が、たまに顔を出す「おいら」に「会長、豆持ってけ―、トマトも持ってけ」と思いやりの言葉。隣の畑の奥さんが「草取りして、豆に竹を立ててやったけどツルが絡んで駄目だね」に「月イチの農作業じゃ無理だよね」「そうそう、背広に革靴じゃねえ」町連会長には農業経営は無理なのか。ご近所には冷害と言っておこう。

5年目の今年は、朝5時起きで健闘中。しかしこの連日の猛暑、キュウリも水不足で枯れ果てた。ご近所にはササギ豆以外は、畑は砂漠みたいで大不作と言っておこう。そうだ、理事会でも難問には「頭も水不足で枯れ果てた、解決は来年の天候待ち」で乗り切るか。

ご存知ですか
平岡町連ホームページを開設！

パソコンとスマホでご覧になれます。
アドレスは次の通り。
http://hiraoka.kiyotamin.net/wp/
スマホはQRコードから手軽にご覧できます。

清田区に地下鉄を！警察を！郵便局を！
清田区民一人一人の熱意と声が
みんなの行動力が市政を動かします！

地下鉄の「清田区延伸」は、どうなっているの？

＝　現状と今後の見通しは　＝

◎現　状：地下鉄東豊線建設促進期成会連合会は、今年7月11日、札幌市役所に於いて、秋元市長に「地下鉄東豊線の清田区方面への延伸について」要望をしました。

【要望要点】
1. 清田区のまちづくりには地下鉄が必要不可欠
2. 地域交流拠点の早急な形成
3. 札幌ドーム周辺地域の活性化
4. 新千歳空港、北広島を視野に入れた地下鉄延伸
5. 地下鉄の一刻も早い決定と着工

●平岡町連鎌倉会長の市長への要望
（他の町連会長も要点等について質問）

『財政の問題、中期計画の問題と色々ご質問をしようと思ったのですが、質問の趣旨を変えまして、清田区民の想いを訴えさせていただければと思います。20数年前にバブルがはじける前は、明日にも地下鉄が来るという区民の想いでしたが、幻のごとく消えてしまった。今回のオリンピックの絡みで大きなチャンスになるのではないか、ひょっとすると最後の大きなチャンスかもしれないと思っており、是非、区民の想いというものを市長さんの胸に治めて頂ければと思っております。地下鉄建設が多額の財源がいると言うことは当然承知しておりますけれども、少しでも予算を下げるために、平岸から真駒内方式を導入されるということも一つの削減する方法になるのではないかと思います。清田区だけを都心から遠い区にしていただきたくないとおもいます。ぜひ、地下鉄を清田にと、ご決断をしていただくようお願いします。

●秋元市長の鎌倉会長への回答

私も皆さん方の想いは重く受け止めております。何とかこれをクリアするためにどうやって人が増えるのか、あるいは構造的なものも含めて費用をできるだけ落とす手法がないのか、引き続き内部検討をさせております。収入を増やして費用を落とすということしかありませんので、これに向けてさらに検討を進めていきたいと考えております。

◎今後の見通し

札幌市は地域交流拠点（地下鉄駅やバスターミナル等の、町作りの核となる拠点）17カ所を整備する計画であるが、このうちの4拠点（新札幌・篠路・清田・真駒内）は、先行的に取り組む拠点と位置づけたが、地下鉄もJRもないのは清田だけであり、さらに新札幌・真駒内は大規模まち作り計画が推進されています。

市長は、今年6月新聞インタビューで「今後10年程度を見据えて、事業、必要経費、財源等を考えており、今年は選挙の年で骨格予算としたが向こう5年間の主要施策を盛込むアクションプラン2019を年末頃までに策定予定」と述べたそうです。清田区の地下鉄延伸は、このアクションプラン2019に入るのか否かが今後を見つめる大きな分かれ道になると思われます。

地下鉄南北線
1971.12.06開業

地下鉄東西線
1982.03.21延伸開通

地下鉄東豊線
1994.10.14延伸開通

「可能性は無限大」

北海道札幌平岡高等学校
校長　小　松　信　夫

日ごろより平岡地区の皆様には、本校の教育活動に対しましてご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

昭和62年4月に開校した本校も、地域や保護者の皆様に支えられながら33周年を迎えます。

本校は校訓「努力」「忍耐」「感謝」のもと「平和国家の形成者として、愛と信頼に基づく人間尊重の精神を育てる」を学校教育目標に「自己実現に向けて、主体的に学び続ける力」「自ら課題に向き合い、粘り強く取り組む力」「社会性に富み、思いやりの心で協働する力」の育成を目指す資質・能力を高めることを掲げています。

その達成のため、生徒は一人一人の興味・関心や進路希望等に応じて科目選択群を選ぶ進学重視型普通科フィールド制※で学び、日々の学習成果をあげ、着実に進路実績を伸ばしています。

また、数々の学校行事で豊かな人間性を育んでいます。特に7月に開催された平岡祭には多数の皆様が足をお運びくださりありがとうございました。生徒も地域や保護者の皆様と触れ合うことができ、大きな成長を得ました。

今年度は野球部が支部予選を勝ち上がり、夏の甲子園出場を競う南北海道大会に進出しました。春夏秋の3大会を通じて初めてのことです。全校応援の梅の花をイメージしたピンクのメガホンが振られる中、選手は懸命に白球に食らいつきました。

軽音楽部も高知県で行われた全国高等学校総合文化祭プレ大会で優良賞(全国3位相当)を獲得しました。

このように本校生徒一人一人の輝く姿が、学校中にあふれています。本校はまさに伸び盛りの学校です。

これからも、より質の高い教育活動を目指して「生徒が自信と誇りを持つ学校づくり」「保護者や地域から信頼される学校づくり」を図ってまいりますので、今後ともご支援とご協力をお願い申し上げます。

※フィールド制とは普通科高校の特色づくりとして導入している北海道独自のシステムで、「フィールド」と呼ばれる様々な選択科目を学習分野に応じてまとめた科目群が複数設定されているしくみです。

＝　平岡キッズまつり　＝

第18回平岡キッズまつりが8月25日(日)、平岡小学校(平岡9条2丁目)の体育館で行われました。地域の親子ら660人が参加し、お祭りを楽しみました。

平岡キッズまつりは、子供たちを地域で育てようと、平岡地区民生委員児童委員協議会が平成14年から毎年開催しているものです。

今年も清田和太鼓会の勇壮な演奏で始まりました。会場には、ヨーヨーつり、ワニたたき、ストラックアウトなどのゲームコーナーが用意され、子供たちが遊びに熱中しました。

綿あめやポップコーン、駄菓子の販売も行われ、子供たちの笑顔が広がり、まつりのクライマックスは今年も子供神輿。法被と鉢巻き姿の子どもたちがみこしを担ぎ、「わっしょい！わっしょい！」の掛け声が会場に響き渡りました。

平岡キッズまつりでおなじみの「赤ちゃんのお世話体験コーナー」が今年も登場。平岡中央中学校の生徒がボランティアスタッフとして、人形を使って風呂の入れ方やおむつの換え方などを教え、子どもたちは真剣な表情で人形のお世話をしていました。

写真を撮ったり、声援を送ったり、会場は大いに盛り上がりました。

地域が子供たちに温かい視線を送っている、そんな平岡キッズまつりでした。

きぼうあふれる

9・6北海道胆振東部

直感的に理解できる「警戒レベル」

警戒レベル「4」までに「全員避難」が鉄則！

大雨の警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	防災気象情報(気象庁など)	避難情報(市町村)
5	災害発生 ・大雨特別警報 ・氾濫発生情報	命を守る最善の行動
4	・土砂災害警戒情報 ・氾濫危険情報	避難指示(緊急) 避難勧告
3	・大雨警報 ・洪水警報 ・氾濫警戒情報	避難準備・高齢者等避難開始
2	・大雨注意報 ・洪水注意報 ・氾濫注意情報	避難場所や経路を確認
1	・週間天気予報の「警報級の可能性」、気象情報を確認	災害への心構えを高める

(気象庁の資料をもとに作成)

「9月1日は防災の日」防災情報について確認しよう！

エスディジーズ SDGsって何？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

～持続可能な開発目標～

国連は昨年1月から、2030年を目指して「持続可能な開発目標(SDGｓ)」の達成に向け活動を開始しました。SDGｓは2015年9月国連総会にて採択された「我々の世界を変革する＝持続可能な開発目標の為の2030アジェンダ」に明記されたグローバル目標です。社会の安定と環境を守りつつ経済的発展を促す「統合的側面」と「誰も置き去りにしない」とする「包摂的な側面」を持っている。

1. 持続可能なって？

世界中で広がる格差や不安定化する社会、気候変動、環境破壊、エネルギーや食糧問題など「世界はこのままだと自滅の道を進んでいく」という共通の危機感に立って、今の世代や自分の周りの事だけではなく、自分の子どもや孫、未来の世代が末永く安心して暮らせる地球であり続ける事。

2. 開発って？

生きるうえで、食べるものがない・学校へ行けない・病気でも病院にいけない・住む所がとても危険・暴力を振るわれたり・自由に意見が言えない、そういうあらゆる弊害を無くして、大人から子供まで人生の選択肢を増やし、安心して自分の能力を発揮できる環境を作る事。

3. 誰の目標？

SDGｓは、開発途上国や先進国の区別なく、全ての国や企業、自治体や学校などの教育機関、地域社会のコミュニティー(町内会や自治会等)、NGO・NPO、国際機関、子どもから大人まで一人一人が力を合わせて達成することを求めています。

札幌市が「SDGｓ未来都市」に選定されました

内閣府が「SDGｓ未来都市」として全国から選定するもので29都市が選定され、2018年6月15日札幌市が選定されました。

平岡の大地から

地震から1年が経過。

日本の夏から秋にかけては台風などによる大雨のため、浸水や河川の氾濫など災害が発生しやすい季節です。私たちは都度発表される防災情報を、どう判断して身の安全を図ればいいのか、防災に関する気象情報について「災害の防止や被害軽減」を図るため、気象庁によって発表される気象警報や注意報、早期注意情報（警報級の可能性）について理解し、速やかに対応することが大事です。

昨年発生した「平成３０年７月豪雨」は全国で死者２２４人にも達しました。災害後、気象庁で改めてアンケートを取ると、危機感が十分に伝わっていない上、「(防災情報は)数が多くて分かりにくい」という意見もありました。また、「経験したことのない」「記録的な」「50年に一度」などの防災の用語に慣れてしまい、避難が遅れてしまった様子も見受けられました。

これらを受け、**"受け手側が直感的に理解できる防災情報を"**との思いで検討を重ね、今年5月に運用を開始したのが、これまでの防災気象情報をまとめた「警戒レベル」です(表参照)。

大切なことは、レベルは５までありますが、**「レベル4」が発表されたら全員が避難すること。**

「レベル5」はすでに災害が発生しており、家を出て避難することは困難です。

また、高齢者や、移動することが難しい状況にある方は、「レベル3」が発表されたら避難することが非常に大切です。

狭い範囲に激しい気象現象が起き、事態が急変する事例が増えています。気象庁のホームページの「危険度分布」(後述)などで、最新の情報を入手することが極めて重要です。

適切・早期の避難行動をとるため全力で支援する行政の努力はもちろん、**"自らの命は自らで守る"**との住民の皆さんの意識も大切になってきています。

出来るところから出来る事を未来の為に
身近なところから身近な事を
続けよう未来の地球と人々の為に

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

1. 貧困をなくそう
あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ

2. 飢餓をゼロに
飢餓に終止符を打ち、食糧の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

3. すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

4. 質の高い教育をみんなに
すべての人々に包摂的(※)かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

5. ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る

6. 安全な水とトイレを世界中に
すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

8. 働きがいも経済成長も
すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する

9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る

10. 人や国の不平等をなくそう
国内および国家間の不平等を是正する

11. 住み続けられるまちづくりを
都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする

12. つくる責任 つかう責任
持続可能な消費と生産のパターンを確保する

13. 気候変動に具体的な対策を
気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

14. 海の豊かさを守ろう
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

15. 陸の豊かさも守ろう
陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

16. 平和と公正をすべての人に
持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

17. パートナーシップで目標を達成しよう
持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

※ここに示された17の目標にはより具体的な「169のターゲット」があります。
詳しく知りたい方は、ホームページをご参照ください。
参照：外務省国際局「持続可能な開発のための2030アジェンダと日本の取組」
セーブ・ザ・チルドレン「2030アジェンダ/SDGｓとは？」国連広報センター他
「SDGｓ市民社会ネットワーク」「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンSDGｓページ」
等各種ホームページより抜粋。

どの子も幸せな学校に

札幌市立平岡南小学校
校長　千葉　一博

平岡地区の皆様には、日頃より本校の児童、そして教育活動を温かく見守っていただきまして誠にありがとうございます。本校は、昨年度開校30周年を迎えることができました。その際にも多大なるご協力をいただきましたことに心より御礼申し上げます。

本校の目指す学校像は「どの子も幸せな学校」…一人一人の子どもが自分と共に学ぶ仲間の価値を感じながら、確かな知、豊かな心、健やかな体を育むことができる学校を目指し教育活動を推進しています。
その中から3つを紹介させていただきます。

＜自ら学びをつくる＞

本校では、子どもが主体的に学ぶにはどのような授業を構築すると良いのかを４つの教科（国語・算数・道徳・特別支援教育）の窓から研究をしています。

「考えることが・自分の考えを発信することが楽しい！」と子どもが思うために「授業のつくり」（何をどのように学ぶのか）と「教師のかかわり」（子どもをより意欲的に向かわせるために何をするか）を中心にした研究です。その研究について外からご意見をいただくために、令和２年１０月３０日に教育実践発表会を実施する予定です。

＜爽やかなあいさつを＞

本校では、日常のあいさつを豊かに行うことで、子どもたちの心を育てていく取組を行っています。その一つが「あいさつバトンリレー」です。１～６年生の全クラスが交代で朝、玄関に立ち全校児童であいさつを交わします。その時には児童会で作成した「あいさつバトン」を持ち、バトンは次のクラスへ引き継がれていきます。爽やかで気持ちの良いあいさつは、学年を超えて仲が良い平岡南小の子どもたちの大切な土台となっています。

＜なわとびで強い体を＞

本校の大きな特色と言えるのが、「なわとび運動」への熱心な取組です。毎週火曜日の中休みを「なわデー」とし、全校児童で運動を行います。その中で低学年は、高学年の技や力に憧れ、高学年は低学年のひた向きさを支える姿勢が育っていきます。毎年春の運動会では、一つの演技としてなわとび運動を行い、子どもたちの意欲を伸ばす工夫を行っています。

どの子も幸せな学校は、毎日の豊かな学校生活の積み重ねによって成されることを忘れずに、今後も教育活動を行っていきます。今後とも本校への温かなご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

トピックス　子どもたちの安心安全！ 地域住民の声届く！ 平岡小学校への通学路にドット線の設置！

昨年の11月に平岡公園町内会・雪割草町内会の2町内会が行った住民の署名運動。目的は平岡小学校へ通う児童の通学路にある変形交差点に対する安全対策。

所管の豊平警察署及び道路管理者である札幌市へ地域住民1,295名の署名簿を提出。

子どもたちの登下校の安全確保の要望書を上記町内会会長及び平岡地区町内会連合会長と連名で再三御願いしたところ今年に入り、札幌市より実施の回答があり9月10日施行されました。

９条３丁目の変形交差点
ドット線の敷設を確認。

平岡を流れていた 幻の川『二里川（にりかわ）』

平岡には、かつて二里川という川が南から北へ地域の真ん中を縦断するように流れていました。今は埋め立てられ、地図からも消えてしまっています。2018年9月の北海道胆振東部地震では、平岡地区でもかつての二里川沿いで液状化が発生しました。

清田区の歴史に詳しい丁寛紀明さん（里塚在住、元清田小学校長）によると、二里川は図①に示した青線の部分を下（南）から上（北）に流れていました。源流は今の平岡南公園付近と、もう少し上流の国道36号線を越えた美しが丘の2か所で、いずれも湧水から流れ出していたそうです。

今の平岡イオンの森にある池は、かつての二里川の名残と思われます。川はさらに今の平岡中央中学校、平岡中央小学校、平岡地区会館付近を流れて平岡北公園、平岡三角公園と下っていました。平岡北公園のくぼ地は、かつての二里川の谷を彷彿とさせます。ここにはその名残と思われる湿地帯があります。

平岡北公園から下流は現在、遊歩道のようになっています。谷底のようになっていて、いかにもかつて河川だったような佇まいです。

平岡三角公園から先は、御料線を横切り、大谷地西4丁目16付近に流れ、ここから川は表に出ます。現在、二里川はここから始まり、南郷通と国道12号線の下をくぐり、国道12号線から約400m先で厚別川に合流します。

平岡地区を流れていた二里川は、平岡の宅地造成とともに埋め立てられてしまい、川は今ありません。札幌市によると、雨水などは下水道管で処理しているといいます。

平岡農事実行組合創立60周年記念誌「ひらおか」（平成11年発行）には、「まぼろしの川、二里川」という記事があり、二里川は「昭和50年代中頃から昭和62年までの宅地造成で姿を消した」とあります。

図①かつて平岡の真ん中を南（下）から北（上）に流れていた二里川。青線で示している

今は大谷地西4丁目から始まる二里川

ラグビーで輝く！ 生涯、青春の人生！

平岡北町内会
副会長　木全　吉夫

記者：日本中がラグビーワールドカップで盛り上がっているこの「ラグビー」に情熱を注いでいる平岡北町内会の木全吉夫さんにその魅力と半生を語って頂きました。

質問：いつ頃ラグビーを始めたのですか、そのきっかけと持続する魅力は何ですか？

木全：当時、映画の主人公がやっていたラグビーが格好良く見えて、数少ない高校の部活で始めたのが最初。その後、一級建築士を取り、建築の世界で日本各地を転勤、ラグビー観戦等で情熱の灯を保ち続けて来た。５０歳になった時、建築関係の先輩から誘いがあり、今の社会人クラブ「札幌有惑クラブ」に所属しました。以来２５年程になります。練習に試合にと各地に転戦、海外試合も？（半分は観光^-^）けがをしないように着用パンツの色で年代別が判るようなっているので、高齢でも出来るのが嬉しい！ラグビーの魅力「一人はみんなの為に、皆は一人の為に」のスピリットで仲間の絆が強く、一人一人の個性や、身体能力に応じたポジション等、相手の役割分担を理解しながら行動するラグビーは「フェアー（正々堂々）精神」がモットー。今注目されている事がとても嬉しいですね。

質問：仕事や町内会等忙しいと思いますが？

木全：クラブには様々な業態・職種の人がおり、人との出会いや交流があり、楽しさに加え自身の生きる糧となりますよ。スケジュール管理の為、自分の生活管理をするようになりますね。

質問：最近、ラグビーで良かった事ありましたか？

木全：初の日本開催。今回のワールドカップで、２０日２１日に行われた札幌ドームでの試合に、ボランティアですが大会のお手伝いが出来た事です。一生の思い出になりました。

質問：地域の皆さんへ何か伝えたいことは？

木全：サッカーや野球、他のスポーツと同じように、男女の別なく子どもから大人まで楽しめるスポーツなので、この機会にラグビーに慣れ親しんで楽しんでくださいね（^-^）。

所属のクラブ紹介　－札幌有惑クラブとは－

当時のラグビー好きな仲間たちが 1963年3月18日に「有惑クラブ」として設立し、その後1979年9月29日に発展的に「札幌有惑クラブ」と改称され本年で56周年を迎えおります。

その年度に40歳を迎える人が正会員として加入資格が有り、年代ごとに【40代】は白色【50代】紺色、赤色は【60代】、黄色は【70代】、紫色は【80代】、【９０代】は金色のパンツを着用し、同色の市松模様のジャージーにヒグマの頭骨のエンブレムを配しています。背番号は 永久欠番式で、最新番号は327番です。40歳に満たない方も準会員として、Over35大会、北海道選手権大会への出場を果たし、これからの有惑クラブを担うメンバーとして活躍しております。

現在は、7世代が融合し「One For All・All For One」の精神で毎週日曜日に汗を流しており、会員は100名を超えます。チームトレーナー・女子マネージャーも在籍しております。

（ホームページより抜粋、詳しくはHPを参照）

◎広報「ひらおか」に原稿応募・情報提供でクオカード又は図書券をゲットしよう！

広報「ひらおか」原稿募集しています！

一、応募期間～常時募集。　発行は年２回を予定～次回は３月頃を予定。
一、応募締め切りは発行月の２カ月前まで（次回は１月末）
一、応募資格～「平岡地区町連」に居住する皆さま（特に主婦・中高の学生・大学生の方歓迎）。
一、応募内容～概ね600字以内程度（写真可）USB・SDカードでの応募歓迎。
・町内会行事の楽しかった事や地域のボランティア活動等。
・地域内の小・中・高の学校での地域活動や日常生活での活動報告。
・各町内会の皆さんに知ってほしい事、役立ててほしい事柄等。
・その他
一、連絡先～平岡地区町内会連合会（平岡まちづくりセンター内）TEL　883－7100

◎注意事項
※応募原稿の内容を審査し、採用の方に、**クオカード**又は**図書券**いずれかを進呈します。
※応募の原稿、写真は返却しません。
※紙面の都合上、掲載されない事があります。
※掲載に当たっては原稿を添削することがあります。

編集後記

毎回、読者の方を思い描きながら、紙面づくりに励んでいますが満足のいく出来かどうか毎度自信が持てない。自身高齢の域に入ってきている由縁か、今回も地域の子どもたちに関わる内容を多く取り上げました。子どもたちの「未来」を「希望」と読めるよう、多くの方がSDGｓを子供たちと一緒に学び取り組み、今を大事に、希望の未来を平岡から世界に発信していければと願っています。

広報部長　竹下　敏雄